



自衛隊栃木地方協力本部

令和6年度矢板市自衛隊家族会定期総会を支援

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、6月18日（火）、矢板市矢板公民館で実施された「令和6年度矢板市自衛隊家族会定期総会」（会長・秋島裕司氏）を支援した。総会の開催にあたり、会長より「昨今の少子化や世界情勢が相まって、厳しい募集環境ではあるが、これまで通りに大田原地域事務所を積極的に支援する」と非常に心強いお言葉をいただいた。また、総会の冒頭で、森島武芳矢板市長（令和6年4月17日就任）は、「自衛隊という組織は、日本にとって必要不可欠な組織です。自衛官が活躍できる環境づくりのためには家族会の皆様の御支援・御協力が必要です」と激励の言葉を述べた。

総会に続いて、栃木地本長（加藤一陸佐）の講話が行われ、自衛隊の概要及び日本の防衛の現状について述べるとともに、最後に募集活動の連携強化と御支援・御協力をお願いした。

大田原地域事務所は、「今後も、地域協力団体との交流を通じて自衛隊に対する理解と信頼を高めることに努め募集環境を根付かせよう」としている。

もうすぐ募集解禁！ 官用車にQRコードを掲示！！！！



官用車にQRコードをラッピングする様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一尉）は、6月19日（水）、募集解禁である官用車のラッピング作業に着手した。

募集解禁に伴い、官用車に栃木地本のHPのQRコードを掲示し、募集をPRするのが目的。

当日は、所長以下5名全員で作業を開始し、事務所管理する4台すべて、安全を確認しながら、車両左側面、後ろ面、屋根と慎重にラッピング作業を実施した。

大田原地域事務所管内は、他の事務所比べ9市町村と地域が広く、官用車が必須であり、多くの人にアピールすることができ、大田原地域事務所は、「ラッピング車両で、常に安全運転を心がけて、新たな気持ちで地道な広報で邁進していく」としている。

防衛医大オープンキャンパス参加

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、6月22日（土）、防衛医科大学校で実施された「防衛医科大学校オープンキャンパス」に学生と保護者18名の参加を支援した。

オープンキャンパスでは看護科と医学科において模擬講義、装備品展示（野外手術システム）等の見学が行われた。参加者した学生は「受験に向けて良い機会となりました」と話しており、本オープンキャンパス参加は好評を得ていた。

栃木地本では、「今後も、各種イベントに参加し、募集対象者が自衛官等採用の各種試験の良いきっかけとなるようフォローしていきたい」としている。



防衛医科大学校（本部庁舎）



装備品展示（野外手術システム）



模擬講義（医学科）